



## 「価値創造」

頭取 大道 良夫

明けましておめでとうござります。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

当行は今年のキーワードを「価値創造」といたしました。毎年、新年にかける意気込みや目標を端的な言葉で表し、役員全員が努力するとの決意を込めて「今年のキーワード」を定めています。

「価値創造」とは英語で「Value Creation」「Value」の語源はラテン語「強い」を、「Create」は「生み、育てる」を意味します。自ら積極果敢に変革に挑戦し、新たな「強み」を生み、育てる、との思いを3つの「価値創造」に込めました。

1点目は「地域社会」の価値創造です。地方創生は、地方版総合戦略の「策定」から、具体的な事業の「実行」や「成果」が求められるフェーズへとステージが移りました。これまでの取り組みをさらに進化させ、地域資源の価値を高めるブランディング、地域経済を支える産業の育成、魅力ある雇用の創出、そして各市町が策定した総合戦略のKPI達成への貢献を通じて、私たちが地方創生を成し遂げる、との強い決意を込めました。

2点目は「お客さま」の価値創造です。お客さまのさまざまな課題にコンサルティング機能を発揮して、お客さまとともに悩み、考え、解決する。究極はお客さま基点の取り組みをさらに深化させていくことです。お客さまの期待を上回る「価値」を創造し、「提供すること」で、何かあれば、まず当

行にご相談いただける信頼関係の構築に取り組んでまいります。

3点目は「強固な経営基盤」の価値創造です。地方銀行の役割は、円滑な資金供給を通じて地域社会の発展に貢献することにあります。そのためには、さらなる効率化による生産性向上、収益力の強化による資本の充実により、いかなる場合も地域経済を支え得る強固な経営基盤の確立が必要です。そして3つの価値創造を実現するために、自己研鑽や地域社会への積極参加を通じて、役員一人ひとりの価値を高めてまいります。

米国の科学史家トーマス・クーンは、その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観が、革命的にもしくは劇的に変化する「パラダイムシフト」を提唱しました。時代は今、新しい価値観を求めて揺れ動いており、まさに「パラダイムシフト」があらゆる分野で起こる可能性が高まっています。

地域社会や企業がこのような激変する環境を乗り越え永続的に発展するためには、常に時代の一歩先を見据えて変革し、他にはない新たな価値を創造しなければなりません。

当行は地域金融機関としての使命を胸に、全役員あげて3つの「価値創造」に全力を尽くしてまいります。

本年も、ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※KPI/Key Performance Indicatorの略。企業などの組織において目標の達成度合いを定量的に評価するための指標。